



本科1年にはこんな学生が学んでいます

本科1年でHSK 6級合格!!

Y. H 同学

日中学院で中国語を学びはじめてからまもなく1年になろうとしています。個人的には入学の数ヶ月前から予習のつもりで独学で勉強していましたが、発声に関しては1人で練習するのが難しく、入学後に先生方に指導していただいていたはじめて上達を実感できました。日中学院の発声指導はなかなか厳しく、緊張感のある授業だと思いますが、何ごとも基礎が大事ですし、発声の



体系を理解するとリスニングの方面でも力が付いたと実感しました。特に中国語は四声を操るのが大事なので、入学後に時間をかけて練習できるのは良い環境です。

その後、秋にHSK 5級がとれたので11月からは6級対策にとりかかり、1月に受けた試験で合格することができました。試験は話すスピードこそ5級とそれほど変わらないものの、話題が広範囲で知らない単語が多すぎたので、単語帳は使わずなるべく中国語のネット記事に目を通しました。それと試験の際になるべく選択肢に目を通して知らない単語をマークしておく、いくらか聞き取りやすくなりました。読解は間違い探し以外は、5級が受かる人であればそれほど苦労しないと思います。私の場合、間違い探しを最初に解かず、問11から問50を終わらせてから時間をかけて解きました。対策を始めたばかりのころはどれが間違いのある文か見分けるのが難しかったですが、ひたすら過去問を解いて解説を見ていると出題パターンが見えてきて、意外と初歩的なレベルの問題も多くあるのに気づきました。要約問題は10分間しか課題文を読む時間がないのが厳しく、しっかり読もうとすると1回半読むのがやっとでした。なので、じっくり読まずに内容を大雑把に理解できる程度でよいので、なるべく早く2回読み、残りの時間で物語の重要な部分を確認しました。回答時間の35分は急いで書かなくてもよい長さだと思います。対策としてはやはり過去問を本番形式でひたすら解き、試験の方式や時間配分に慣れるのがよいと思います。本番ではどういうわけだか過去問とまったく同じ内容が数問出てきましたが、HSKあるあるらしいです。

本科1年の授業では、「基礎漢語」で文法を確認するために定期的に小テストがあり、必要な文法の型を覚えることができたので、HSKの作文でもそのまま使うことができました。「講読」の授業でも秋には色々な副詞や接続詞の出る文を読むので、単語量を増やせば6級の文でも読むことができました。本科の授業がHSK試験にも役立ちました。

勉強は得意でないけど頑張っています

八島 学 同学

日中学院に入学したきっかけは中国の文化や食文化が好きで、中国語も学びたいと思ったからです。今まで中国語を学んだ経験がありませんでした。なので一から始める中国語はとても難しく最初はまったく授業についていけません。特にリスニングや発音が難しかったのを覚えています。

学好中国话，为日中友好起桥梁作用！

日中学院報

2020年 3

毎月1回1日発行 第540号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3

TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590

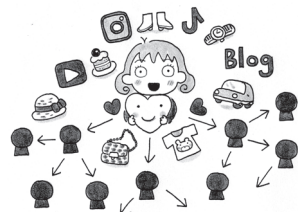
URL <https://www.rizhong.org/>

E-mail info@rizhong.org



本科・日本語科弁論大会

A 先生の新語コーナー



dàihào “带货”

商品購入に影響を与えること。“带”は人を導く、動かすの意。企業がテレビタレントを起用し、商品を売り込むこともその一つだが、ネット社会全盛の現代では“网红”(ネット有名人)が主役だ。ライブ配信などで紹介されるファッションやおすすり商品は消費者の購買行動に大きな影響力を持つ。ちなみにロシアのプーチン大統領はG20大阪サミットで手にした白いタンブラーが中国で人気商品となり、SNS上で「彼は带货明星(スター)だ」との声が上がったという。(A)



リスニングは良くて単語を数個書き取るのが限界で、酷い時には何も書けてなくていつも悔しい思いをしていました。発音は四声がうまく言えなくて先生からよくダメ出しされてきました。ですがせっかく中国語を始めたのに、分からないまま放置するのもよくないと思

い、先生に質問したり発音指導を受けて、ようやく中国語が分かるようになって楽しく学校生活を過ごせるようになりました。そこからは自分の趣味のことを中国語で調べたり、日本には売っていない中国製品をネットで買うようになり、今では充実した生活を送っています。

日中学院は先生がよくサポートしてくれ、施設も充実していて中国語の成長の道を支えてくれます。なので初めて中国語を学ぶ人にもおすすめです！一生懸命語学の道を進めばきっと尽きることはない新しい世界に入ることができると思います。



本科研究科卒業後、天津外国語大学大学院に留学した同学からの留学報告です

天津留学140日

T.N同学

2019年8月末、天津での留学生活がはじまった。

中国の朝は早い。大学院にもかかわらず1限から授業がある。しかも開始時刻は朝8時！日本の学生にはまずできないだろう。しかし中国ではこれが当たり前なのだ。基本的に全員キャンパス内の寮に住んでいるためか、遅刻する学生もほとんどいない。

クラスで唯一留学生寮に住んでいる私には起こしてくれる「同学」もおらず（中国人学生の寮と留学生寮は別れており、同じく外国人の「室友」はいるが、他学科のため時間割が異なる）、1限の前の晩はいつもドキドキだったがなんとか無事に全部出席することができた。日の出前に起きて極寒の中通学するなど、大学時代には到底考えられなかった。これもひとえに日中学院のおかげである。週6で毎朝9時から授業に出る「リハビリ」をしておいてよかった！

中国の大学は宿題が多い。日本の学校であれば、通学時間やアルバイトの時間を考慮し、鬼のように宿題が出されることは少ないが、中国では寮生活、かつ日本の学生のようにバイトとサークル活



動に明け暮れることもないためか、ほぼ毎週大量の課題がでる。しかも、私たち日本語翻訳専攻の今学期の課題は主に日文中訳。あやしいとわかっていても吟味している時間などない。心が折れそうになりながらも書いて書いて書きまくり、なんとか提出する。その繰り返し。中国語の能力もさることながら、日本語力の足りなさに辟易した。

ただ読むだけなら読み飛ばしてしまう言葉も、訳すとなると意味を言い表さなければならない。すると途端にわからなくなってしまうのだ。辞書にのっていない言葉、なんとなく使っている言葉のなんと多いことか！接続詞もわからない。使う時にいちいちこれは「強調」、これは「逆接」などは考えていないし、文の流れやリズム上使っているだけでさほど意味がない場合もある。また、普段自分では使わない言葉にもたくさん遭遇する。コーパスで調べるという手もあるが、最終的にはやはり勘に頼るしかない。

クラスメイトに聞かれて初めて「わからない」



と気づかされることもある。とにかく、日本人に要求されているのが日本語の理解力、表現力である以上、やはりまずは日本語力を鍛えなければならないのだ。中国大学生たちから刺激を受けながら、言葉の面白さと難しさの間で揉まれた1学期だった。

天津は北京や上海ほど遊ぶ場所が多くないため誘惑も少なく、勉強するにはちょうど良い環境ではないだろうか。気分転換をしたい時には「菜市场」に行ったり、「麻辣烫」を食べに行ったり、川



沿いの古い洋風建築が立ち並ぶエリアを散歩したりとそれほどお金をかけなくてもリフレッシュできる。中国での生活を楽しみつつ、「光阴似箭」、時間を大切に引き続き勉強していきたい。



図書室 だより

奥の書架も宝の山?!

現在図書室では、古い本を順次バーコード登録しています。これからは検索結果に表示されるようになるでしょう。図書室を預かる者として、少しでも多くの学習者を、手前の学習本の書架から奥の書架へいざなうのも大切な仕事。登録に加えた本の中から何冊かご紹介いたします。

*蔡志忠漫画



『論語』『中庸』
『大学』
『孔子説』
『莊子説』
『老子説』
『列子説』
『韓非子説』

『孫子兵法』『三十六計』『菜根譚』『禪説』『六祖壇經』

*兒童中国文化寻读 (拼音付き)

『論語』『老子 庄子』『大学 中庸 笠翁对韻』
『孟子』上下 『詩經 礼記 皇帝内經』
『史記 墨子 吕氏春秋』『易經』上下
『弟子規 三字經 千字文 孝敬』

*中国十大古典文学名著画集 (10冊)

古典の名作10話(『紅樓夢』『離騷』『水滸傳』『西廂記』『儒林外史』『牡丹亭』『西遊記』『三國演義』『金瓶梅』『聊齊誌異])が1話1冊ずつ現代画家により描かれた画集。



『離騷』の屈原

その意匠も色彩も非常にモダンで、まるでドラマをみているような気分になります。文章は極短く繁体字と英語で書かれているので語学の勉強には不向きなところもありますが、ここから古典作品に興味があれば、テキストは図書室に豊富に揃っています。是非お手にとってご覧ください。

3 月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
1	2	3	4 ●日本語科成績会議	5 ●日本語科成績発表	6 ●本科授業最終日	7 本科 春休み(～4/9)
8	9	10	11 ●本科成績会議	12 ●本科成績発表	13 ●別科公開講座⑬ 18:45～20:45 (入門)	14 ●本科、日本語科 卒業式
15	16	17	18 ●本科4次募集 受付締切	19 ●別科公開講座⑭ 18:45～20:45 (入門)	20 ●祝日	21 ●本科4次入試 ●別科公開講座⑮ 13:00～15:00 (入門・基礎)
22	23 ●本科4次入試 合格発表/補欠受付 ●別科276期 授業最終日	24 ●別科春期集中 3/24・26・28	25	26	27 ●本科補欠募集 受付締切	28 ●本科補欠入試 /発表
29	30 ●本科入試 以後随時受付	31				
●4月の日中学院 ・3日…別科公開講座18:45～20:45 (入門) ・4日…本科・日本語科入学式 別科公開講座13:00～15:00 (入門・基礎)			・6日…別科公開講座10:00～12:00 (入門) ・8日…別科277日授業開始 ・10日…本科・日本語科授業開始		・17日…本科就職セミナー ・24日…本科、日本語科都内見学 ・29日～5月6日…授業休み	

別科2020年4月期(277期)お申し込み受付中!!

入門、基礎既習クラス、会話・リスニング・文法・作文・通訳など多彩な講座が開講します。HSK 6級・中検2級対策講座や中国結び・中国茶など文化講座もあります。随時聴講可能、レベルチェックも承っています。



【4月ゼロからスタート】

[昼間]

- ・早朝コミュニケーションI (4月班) 月・木 7:30～8:30
- ・初級前期(午前) 火・金 10:00～12:00
- ・土曜コミュニケーションI (4月班) 土 10:00～12:00

[夜間]

- ・チャレンジチャイニーズ 月・水・金 19:00～20:45
- ・初級前期(夜間) 月・木 18:45～20:45
- ・コミュニケーション中国語I (4月班) 火 18:45～20:45
- ・土曜コミュニケーションI (4月班) 土 18:45～20:45

本科2020年度生募集中!!

本科 (2年制中国語専門課程)

短期留学必修、専門士取得で大学3年次編入可能!!

本科研究科 (1年制通訳翻訳課程)

通訳翻訳の基礎力を養成し、即戦力になる中国語を!!

・補欠募集 受付: 3/23(月)～3/27(金) 入試: 3月28日(土)

これ以降も受付可能です。詳しくはお問い合わせ下さい。

別科在籍者の方が、合格すると**入学金が半額**になります!!

学院長の思い出話18

「南巡講和」で改革開放へ再発進

天安門事件後冷え込んだ日中関係を回復させる動きは日本側で次第に強くなりました。当協会は89年11月に桜内会長を団長とする大型代表団を北京に派遣。引退後の鄧小平氏、江沢民総書記、李鵬総理等の指導者と会見し、経済関係回復について意見交換しました。91年1月には当協会創立35周年祝賀会に鄒家華國務委員を招請し、事件後の高官交流再開の口火を切りました。

1992年2月鄧小平氏が「南巡講和」を行い、改革開放を継続するメッセージを発信。同年10月の第14回党大会で江沢民総書記は「社会主義市場経済体制の確立が改革の目標であり、対外開放をいっそう拡大する」と報告しました。中国の改革開放は後戻りしないことが明確になり、日本企業の対中投資は再び活発となり、日中貿易も拡大していきました。この年、有史以来初の天皇訪中が実現。また中国は韓国との国交を樹立しました。東アジアにおいて現在にまで至る政治経済構造が形成されました。

(片寄浩紀)